

市議会だより

なんたん



平成19年7月発行
No.6



園部中央プールでの幼稚園児(7月5日)

発行／南丹市議会
編集／広報特別委員会

〒622-8651
京都府南丹市園部町小桜町47番地
TEL.0771-68-0059(直通)
FAX.0771-63-0350
e-mail gikai@city.nantan.kyoto.jp
http://www.city.nantan.kyoto.jp

●主な内容

| | |
|----------------------|----|
| 6月定例会報告 | 2 |
| 組織機構を再編..... | 4 |
| 16人が市長にまちづくりを問う..... | 6 |
| 委員会活動報告..... | 14 |
| なんたんでの競技 | 16 |

平成19年南丹市議会6月定例会は、6月5日に開会し、26日に閉会しました。開会日には、8件の専決処分報告、8件の平成18年度各会計繰越明許費繰越計算書報告がされ、南丹市総合振興計画基本構想の提案のほか7件の南丹市組織等の条例改正、2件の補正予算の提案がされました。

12日から14日までの3日間、16人の議員が一般質問を行いました。

また、18日から21日にかけて、各常任委員会が開催され、付託された議案の審査を行いました。

26日には、付託議案の各委員長報告、討論、採決を行い、いずれの議案も可決、承認しました。

平成19年度一般会計補正予算(第1号)可決

9,799万円を追加

総額 234億7,999万円の予算

歳入の概要

| | |
|-----------|---------|
| ●地方特例交付金 | △552万円 |
| ●分担金及び負担金 | 11万円 |
| ●国庫支出金 | 2,001万円 |
| ●府支出金 | 809万円 |
| ●財産収入 | 2,666万円 |
| ●繰入金 | 4,818万円 |
| ●諸収入 | 46万円 |
| 合 計 | 9,799万円 |

歳出の概要

| | |
|---------|---------|
| ●総務費 | 4,231万円 |
| ●民生費 | 2,663万円 |
| ●衛生費 | 110万円 |
| ●農林水産業費 | 563万円 |
| ●商工費 | 50万円 |
| ●消防費 | 826万円 |
| ●教育費 | 1,356万円 |
| 合 計 | 9,799万円 |

委員会での主な質疑

問 今回の機構改革による人件費のアップはどれくらいか。

答 300万円アップするが、今後、定員適正計画による職員の削減等、嘱託・臨時職員の見直しを総合すると、来年1100万円程度の減になる。20年度末との比較では約800万円減。

問 美山ふるさと株式会社への263万円補助の内容は。

答 今年2月に牛乳に塩素臭が発生した。その対策として簡易水道を敷設・受水するにつき補助するもの。

問 組織機構再編事業550万円の工事費は。

答 今回の機構再編に伴う本庁舎の改築費。ドアの変更、壁、カウンターを設ける。

問 バスの運行業務委託料の内容は。

答 八木地域内の京阪京都交通バスの運行経費委託料540万円で、人件費、車両経費、保険料などの諸費、その他費用156万円は時刻表のポール16基、運賃表。

問 小学校英語活動等国際理解活動推進事業の内容は。

答 19年度と20年度にかけて文科省の指定による英語活動で、市内の全小学校で年35時間の英会話の活動。

問 財政調整基金の財源の内容は。

答 園部町の平成台と本町の市有地の不動産売り払い収入である。

問 地域振興関連施設管理運営にかかわる工事請負費の内容は。

答 美山町農業振興総合センターの谷水を利用した水道施設の老朽化に伴い、簡易水道に接続し、切りかえるものである。

問 小中学校改修事業はどこか。耐震調査結果は。

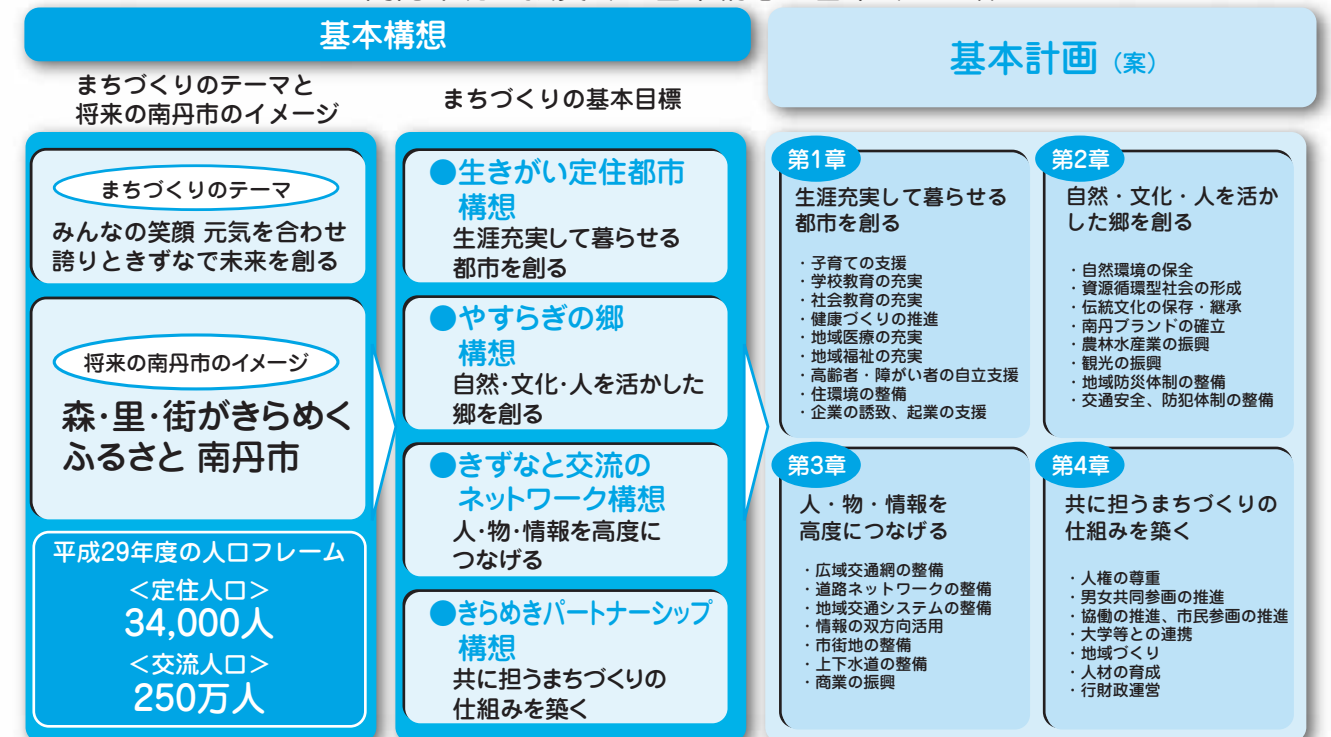
答 今回の段階では特定していない。26棟の耐震補強が必要。昭和56年度以前は震度5、57年度以降は震度6以上に耐えうる基準になった。耐震補強の内容の計画費である。

10年後の南丹市を展望する まちづくりの指針 南丹市総合振興計画基本構想を可決

地方自治法第2条において「市町村は、その事務を処理するにあたっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない」と定めている。

今回、南丹市総合振興計画審議会の答申を受け、「新市建設計画」を踏まえながら、10年後の南丹市を展望するまちづくりの指針となる基本構想が提案された。審議の結果、全員賛成で可決しました。

南丹市総合振興計画基本構想・基本計画全体図



平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算(全員賛成)

201万円を追加 総額 36億5,411万円

| | |
|------------------------------|-------------------|
| 歳出 保険事業費 国保健康支援事業 201万円を追加補正 | 歳入 国庫支出金 201万円を追加 |
|------------------------------|-------------------|

問 今回の組織再編は、合併協議会の公約破棄であり、納得できない。

答 厳しい財政状況の中、総合的、計画的、効率的に進めるための組織再編である。総合支所方式は、堅持していく。本庁と支所の役割分担を明確にしていく。管理部門、事業部門、また専門職等の統合をし、意思決定の迅速化、責任範囲の明確化を図る。

問 財政改革は、行政組織をスリム化するのが、普通である。部、課を増やすのが改革か。住民サービスは、どう変わるのか。

答 全職員に合併後の日常業務の弊害について聞いた。福祉事務所の充実など多くの課題は、業務を整理しないで本庁(3割)支所(7割)が先走ったため、この人数に縛られた。組織変更し、効率的に行うことによって、サービスがより充実する。

問 3支所から総計52名も引き上げるが、本庁にそのスペースがあるのか。市税等の徴収の強化をしたいと言われたがなぜ収納課がないのか。

答 会議室を執務室に変更し、会議室は国際交流会館の会議室を当分使う。収納課はないが人数的に強化する。

問 人数が減っても支所機能が低下しないことを確認できるのか。

答 基本的なことは、合併時に協定書を交わしている。庁内の調整会議の意見も踏まえ対応していく。

問 なぜ今、組織再編か、市民に説明を。

答 議会で議決をいただいた後、住民に一定の説明をする。その方法は、広報紙を通じて理解をいただくとともに、各町毎に区長等と会議をもつて理解を得ようとする。

問 市民の視点が軽んじられているのではないか。

答 二重行政等を解消、窓口を明確化し、利用しやすい体制を構築する。高度な体制を整える。

南丹市組織条例の全部改正他6議案を可決
南丹市税条例の一部改正他2議案の
専決処分を承認

今議会において、条例の全部改正・一部改正の7議案が提出され、審議のうえ、すべてを可決しました。

また、3月末の税法改正に基づき専決処分された南丹市税条例の一部改正他2議案を、いずれも審議のうえ、承認しました。

- 南丹市組織条例の全部改正
(賛成多数で可決)
- 南丹市職員定数条例等の一部改正
(賛成多数で可決)
- 南丹市八木防災センター条例の一部改正
(全員賛成で可決)
- 南丹市選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
(全員賛成で可決)

専決処分

- 南丹市国民健康保険税条例の一部改正
(全員賛成で承認)
- 南丹市税条例の一部改正
(全員賛成で承認)
- 南丹市都市計画税条例の一部改正
(全員賛成で承認)

南丹市組織条例を全部改正

基本的な考え方

長期的な視点にたち、見直すべきは見直し、改めるべきは改め、伸ばすべきは伸ばす「選択と集中」を行い、迅速かつ効率的な行政運営の確立をめざす。

再編・強化の「なんたん」

◆市民の視点

・市民が利用しやすく、わかりやすい組織づくり

・市民サービスの高度化、一体化を図る組織づくり

・市民に身近な総合支所機能を維持する組織づくり

◆市政推進の視点

・意思決定の迅速化と責任の明確化を図る組織づくり

・市総合振興計画をはじめ各種計画の具現化を図る組織づくり

・業務改革と職員の意識改革を図る組織づくり

◆行政改革の視点

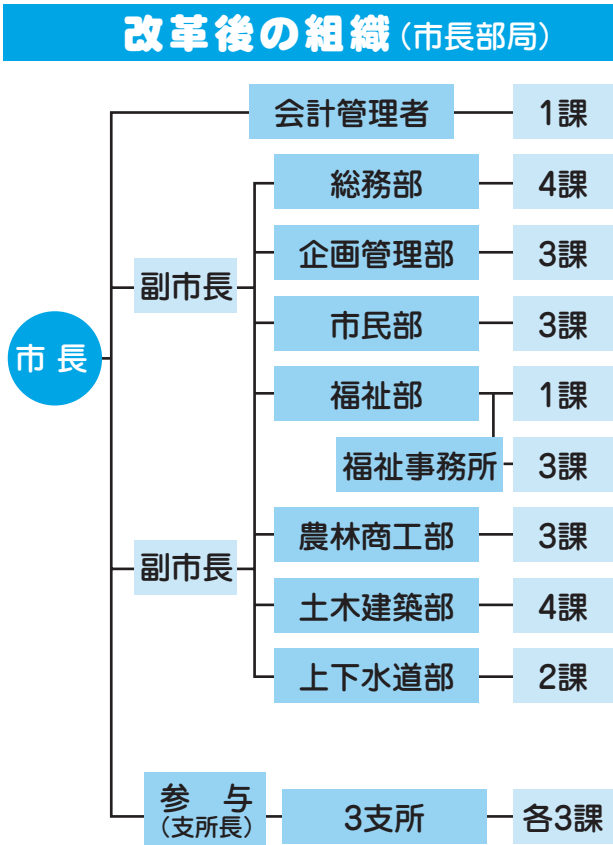
・厳しい財政状況を乗り越え健全化を図る組織づくり

・共通目標となる行政改革を推進・管理できる組織づくり

・新たな行政需要に機動的に対応する組織づくり

主な内容

- ①市長部局を7部33課で編成する。
- ②他の行政機関事務局
- ③園部支所は廃止。各支所は3課で編成する。
- ④人員数は、現行体制を基本に緊急課題、新たな行政需要等に配慮して配置する。
- ⑤上下水道部は、八木支所内に配置する。
- ⑥実施時期は、8月1日。市民への周知等は、地域説明会、広報紙等で速やかに行う。



反対討論

活縁クラブ
松尾 武治 議員

合併協議会が示す財政計画が肥大した原因の多くを、国の制度変化と言っているが、合併協議会の試算の甘さはあるものの、議会の指摘をも省みない街路事業等の増大が原因である。

市民に直接影響する支所機能の削減よりも、委託費・管理費・公用車などの経常経費を削減する「企業的感觉」で内部改革を行うことが、住民主体の市政運営と言える。

町村合併に関わった議員として、財政運営の甘さによるつけを、市民に回す議案に賛成できない。提案された組織機構では行財政改革の効果が少ないので、関連議案もあるが、議案と提案理由に整合性がない本議案に反対する。

賛成討論

丹政クラブ
森 爲次 議員

現在、南丹市は合併時より、義務的経費が大きく膨れ上がり、交付金等不確実で歳入不足が生じ、基金の取り崩しや起債に頼らなければならぬのが現状である。

園部支所の廃止や、他3支所の課の統合に不便を感じるが、今から土台のしっかりした安定したまちづくりのため、思い切った改革が必要と考える。

「意思決定の迅速化と責任の明確化」「専門的見地からの事業見直し」「人員計画」「総合支所制度の維持」以上、行財政効率化を狙う組織改革であると考える。また、「南丹市総合振興計画」の基本構想実現のためにも、住民第一の改正と理解し、本案の賛成討論とする。

南丹市組織条例の全部改正議案
討論(要旨)

南丹市組織条例の全部改正議案について、5議員がそれぞれ反対・賛成の討論を行いました。

反対討論

日本共産党・住民協働市議員団
高野 美好 議員

「ゆるやかな合併を進める」として「各旧町に総合支所を設置し、職員の7割を残す。設置期間

はおおむね10年とする」ことが、合併協議での合意であった。「支所サービスは低下させない」との答弁をもって、支所職員の減員を許すわけにはいかない。

総合支所機能は保つとしながら、なし崩し的に支所職員を減らしていく

賛成討論

丹政クラブ
吉田 繁治 議員

ことは目に見えている。それは、美山町における振興会職員の配置についても、「将来にわたって担保されるものではない」という答弁からも明らかである。「支所へ行けばすべてのことが解決

合併の協定事項である市の行政組織の改正案に対し、なぜ今か、という思いが一定あることは否定できない。

しかしながら、市政遂行の責任者である市長は、市を取り巻く諸情勢を的確に把握され、時期を失せず改めるべきは改めなければならない。

従って、一層の行財政改革の推進、職員のより専門的能力の高揚発揮、市民要望への迅速な対処など、住民サービスの維持継続を図るため、市長として強い決意での提案と評価する。

今後、改正の目的に沿うよう一段の努力をともめるとともに、市民に対し説明の場を持たれるよう要望し、本案に対する賛成討論とする。

反対討論

活縁クラブ
川勝 儀昭 議員

南丹市組織条例の全部改正に伴う行政組織の再編強化について、基本目標は一定の理解をする。しかし、八木・日吉・美山支所の職員数は大幅に削減され本庁に集約される。これで市民に身近な総合支所といえるのだろうか。福祉の担当職員まで削減される。福祉に携わる職員は身近なところで働いてこそ住民の安心・安全な生活が確保されると考える。1年数ヵ月前に合併したばかりである。ゆるやかな合併であり、対等合併である。市内の地域間格差の拡がらない町づくりが必要である。効率的な行財政運営のために住民サービスが低下してはならない。市民の意見を聞き、理解を得た上で組織再編に取り組むべきである。



日本共産党・住民協働市会議員団
仲 絹枝 議員

ダイオキシン問題の 行政責任は

京都府と連携を密に早期解決 **市長**

問 昨年末、カンポリサイクルプラザの問題が起きて以来、現在も一般家庭ごみの処理を、亀岡市と京都府に委託している。また地元は「悪臭・騒音」の問題を抱え、「安心・安全」とは言いがたい状況である。

答 本来、行政が責任をもつ業務であるが、市の今後の対応、具体的な施策を伺う。また、カンポリサイクルプラザに対しては「汚泥」の焼却の規制、リサイクル施設としての役割をもとめるなど、行政指導が必要で

あると考えるが、見解を伺う。

市長 京都府と連携を密にし、課題に取り組んでいく。三者協定を守りながら、住民の不安を早期に解消する。

問 今回、八木町内にもバスを走らせる提案がされたが、採算性だけが問題にされないか心配である。また、園部町では現在ある路線に対しても、地元要望がある。

市長 高齡化が進む中で、住民

の交通権保障という観点から、地域公共交通が必要である。環境問題への対応の面からも、南丹市全域のバス路線を見直し、交通弱者に配慮した、公共交通を考える時期である。南丹市地域公共交通会議を立ち上げると聞くが、具体的に何をしていくのか伺う。

市長 税金をいくらでも使えるという状況にはないので、市民の皆様には利用促進をお願いしたい。会議では、住民のニーズに応え、乗っていただきやすいバス

交通網の構築を図っていた。

問 本市における基本構想案の中に、吉富駅西地区土地区画整理事業を、どのように位置づけているのか。また、行政としての具体的な支援策を伺う。何よりも、住民への説明を丁寧にするべきと考えるが。

市長 府と協調して諸問題の解決、事業推進に努力し、住民の意見、要望を十分に踏まえ対応していく。



活線クラブ
矢野 康弘 議員

園部大橋の拡幅と 石井堰の切り下げは

早期改良に向け努力 **市長**

問 国道9号園部地区内の改良工事が行われている。その中に園部大橋の拡幅も入っている。昭和7年に竣工し75年も経過し老朽化し幅も狭いため架け替えが必要である。その下流に石井堰がある。これが大橋周辺の水位を上げている。小山堰を撤去したため、水位が少し下がっているが、周辺の河原町地区など地盤の低い地域を水害の危険から守るため、石井堰を切り下げ水位を下げる工夫が必要である。これは大橋の改修のときでないとできない。国交省や府に要望し改善をもとめるが。

市長 橋梁改良について、できるだけ早期にしたい。国交省に要望する。また、府は下流から順次整備しており、この部分についても府と調整しながら、この課題に取り組んでいきたい。

問 第二プールは昭和48年に設置、34年を経過し老朽化し相当傷んでいる。

市長 要である。これは大橋の改修のときでないとできない。国交省や府に要望し改善をもとめるが。

要である。これは大橋の改修のときでないとできない。国交省や府に要望し改善をもとめるが。

市長 橋梁改良について、できるだけ早期にしたい。国交省に要望する。また、府は下流から順次整備しており、この部分についても府と調整しながら、この課題に取り組んでいきたい。

問 第二プールは昭和48年に設置、34年を経過し老朽化し相当傷んでいる。

市長 要である。これは大橋の改修のときでないとできない。国交省や府に要望し改善をもとめるが。

B & G プールも撤去された今日、幼児から大人まで利用できる総合プールの設置が必要と考えるが。

市長 改修が必要で、今年度プールサイドのタイルの取替えと、幼児用プールの全面再塗装を実施する。今後需要に対応する。

問 市道内林小山東町線の全線にわたり舗装が傷んでいる。最近、大型車等の通行量が一段と増えた。雨天時には水溜りが多くハネで迷惑している。

市長 舗装が必要では。本年度から計画的に下層路盤の改良も含め順次、舗装改修を進める。

問 園部町の北部コミセンの周辺は保育所や児童公園、体育館、プールが集中し、人の動きが多い。この近くの交差点に信号機の設置が必要であると考えるが。

市長 現在、南丹警察署、公安委員会等関係機関に要望を続けている。

佐々木市長にまちづくりを問う

一般質問

6月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。（質問順に掲載）



南風会
中川 幸朗 議員

行政組織の 再編の必要性は

市長 行政課題の解決をめざす

問 本庁・支所での人員割合はどうなるのか。支所での権限やサービスの低下は生じないのか。

市長 合併協議の内容と相違することは、市長自ら施政方針や思いを市民の皆さんに説明をする責任があると考えている。また行政組織の再編がなぜ今の時期に必要であるのか。

市長 職員定員適正化計画に基づき、5年間で38名の削減に取り組む。財政の状況、行政の課

題をやる所から取り組み、組織機構の改正等の条例も、8月1日に施行をし、平成20年度予算の編成に向けて事業の見直しを進め、国や府への予算要望をしていきたい。

議会でも審議、議決をいただき、決定すれば市民の皆様方に十分にご理解いただき、啓発なり、広報、説明等を進めていく。

任期の中で、課題解決に向け取り組む。合併協議、新市建設計画との整合性を踏まえ、市長とし

ての責任を果たしていく。当然、総合支所方式を今後とも3支所で継続し、きめ細やかな住民サービスを展開し継続的に確保していきたい。

問 財政状況の認識について、また将来の財政の見通しについてどうか。

市長 歳入歳出不足額は毎年20億円程度で推移し、このまま続けていくと、平成22年度で全ての基金が枯渇する。

各財政指数は、平成23年には財政力指数0・31、公債費比率は17・9%、起債制限比率は13%と考えている。実質公債費比率は18%を超えている状態になると危惧している。こうなると、協議団体から許可団体へ移行し、厳しい現状になる。当初予算の627事業の内20%程度は見直しを進め、財政規模に見合った歳出となるように取り組む。



丹政クラブ
谷 義治 議員

府道改修は総合的に 推進すべき

市長 今後のまちづくりの重要課題

問 府道竹井室河原線は、園部町側において改修が進んだが、八木町側で改修が進んでいない。これは、吉富駅西地区画整理事業と池ノ内地区におけるほ場整備事業とを総合的にとらまえ府道の法線を考えないと解決しない。そこで、市が府や国、JRなど関係機関と協議し、ルート決定を早急に行う必要がある。現在、どうなっているか伺う。

市長 府道改修は、区

画整理事業及びほ場整備の基盤整理の根幹をなすものであり、今後のまちづくりの重要課題と位置付けており、踏切の立体交差を含め、早期実現に向け、積極的に取り組む。

問 平成19年度から実施の「農地・水・環境保全向上対策」に関して現状と課題について伺う。

①協定参加集落数は、限界集落といわれる地域での取り組みは。

②営農活動支援に対する

取り組み状況は。

③農地に隣接する里山については、この事業が導入できないか。

④行政は、担い手の創出をこの5年の中で、きっちりやるべきではないか。

市長 地域力向上のため、市としても協力体制の強化を含め、努力する。

岸上副市長 ①107地区、1828haで、市の農用地の77%をカバーする。限界集落は、11区、この

うち6集落は取り組まれている。

②10地区にとどまっているが、来年度以降増やしたい。

③誘導部分の中で、農用地・水路・ため池・農道の周りを含めた活動として生い茂っている部分の刈り払い等は対象と考える。

④住民の皆さんと連携し、地域力の強化を図るなかでこの課題解決に取り組む。



日本共産党・住民協働市会議員団
高野 美好 議員

嘱託・臨時職員の賃金改善は

財政状況等を考え賃金引き上げはない

市長

問 今、南丹市役所で働く職員の3人に1人が嘱託や臨時職員となっている。本来であれば、正職員とすべきところを、市役所が、低賃金労働者を調整弁のように使い、世間で問題になっている派遣労働者と実質的には変わらない状況となっている。時給換算で、千円を下回っている人もいると思うが、引き上げる考えはないか。又、引き上げる

市長 今、南丹市役所で働く職員の3人に1人が嘱託や臨時職員となっている。本来であれば、正職員とすべきところを、市役所が、低賃金労働者を調整弁のように使い、世間で問題になっている派遣労働者と実質的には変わらない状況となっている。時給換算で、千円を下回っている人もいると思うが、引き上げる考えはないか。又、引き上げる

市長 市が発注する業務委託や公共工事、さらには指定管理者による管理委託料を支払っている施設などで働く人たちの実態把握と業者指導はどうな

市長 美山町の知井保育所保護者から強く要望されている「1歳児保育」「延長保育」などの保育条件は、同等とすべきと考えるがその用意はあるのか。



活緑クラブ
松尾 武治 議員

一向に減少しない鳥獣被害

広域的な捕獲体制も必要

市長

問 合併協議会では、おおむね10年をめどに合併効果がみえにくい総合支所方式を条件に、住民の皆さんに町村合併の合意をもとめた経緯がある。今日の南丹市の財政状況が予想できなかった状況が大きく変わったと言われているが、市長は、南丹市の財政運営で、どの部分に問題があり、どのように改善する必要があると考えるか。明確な情報を市民に提供する必要はある。重大な状況を把握しているのなら19年度の施政方針で明確に示し、19年度予算編成で、継続事業を見直さなければならぬ。議員の質問に対して、財政が厳しい状況と裏腹に、見直す考えはないと市長は答弁している。突然に降って湧いたような機構改革で、財政的な効果、施政方針との整合性、合併協議との整合性と住民への説明責任、周辺住民へのサービス低下についてどう考えているのか伺う。

市長 20年度の予算編成対応ができる体制を整えたい。分かりやすく市民サービスの低下を伴わない施策として実施する。住民には十分な説明をしなければならぬと考えている。

市長 南丹市は全国的に見ても、有害鳥獣対策に使う予算額は多いが、農林作物の被害はいつこうに減少しないまでも、ますます被害が多くなっている。

市長 広葉樹の減少、里山の変化、猟友会の高齢化等が課題と考える。捕獲奨励金・報奨金を単費で実施しているが、地域集落の協力体制、市町村・府県を越えた捕獲体制などを要望していきたい。



南風会
面村 則夫 議員

総合振興計画の人口増対策は

宅地整備によって人口増を図る

市長 10年後の南丹市を展望する総合振興計画が策定された。まちづくりの基本目標として、生きがいの定住構想等の基本計画、実施計画が取り組まれるが、八木駅、吉富駅を中心とした整備が重要と考える。29年の人口は34000人と推計しているが、人口増対策と併せ駅舎整備の考えは。理事事業は、京都府の審議会を経て11月に市街化

市長 区域になり、土地利用計画が決定され、宅地整備により1800人の人口増、八木駅西區画整理事業は、準備会が設立され事業実施の取り組みが進んでいる。宅地整備により、830人の人口増を見込んでいる。また、誘致企業の従業員の定住化にも取り組んでいる。駅舎は利便性の高い利用しやすいものを検討していく。

市長 自主財源の確保と経費削減は重要課題である。企業誘致や税の適正課税、適正徴収に取り

市長 都市公園軟式野球場社会人第3種的设计基準で整備した。今後は使用に関する関係団体の意見を参考にし検討を加える。



丹政クラブ
橋本 尊文 議員

栄町公民館進入路拡幅は

用地・移転物件の対応は地元で

市長 南丹市の豊かな将来を展望するとき市民・地域社会・行政の協働は必要不可欠な要素であり、そのためには地域力の強化が最重要事項となる。行政としての住民相互の連携強化・地域での人的資源の充実に対する対応、また地域活性化に向けてのハード事業として栄町公民館進入路拡幅について所見を伺う。

市長 地域活性化に関して地域力の強化が重要であることは認知している。自助・共助・公助のバランスのとれた行政運営を行い、府と連携を強化する中、地域力の向上に努める。また、今回の組織機構再編強化を通じても担当できる職員を配置する。

市長 財政問題も絡み、的確・健全な管理が市役所に課せられた責務である。ただし、高齢者・独居老人の方々には配慮し、十分調整をし対応する。

市長 園部公園スポーツ広場グラウンドの左側面フェンスの高さが低く危険なので対応について伺う。

早急な改善が望まれる宮町交差点



日本共産党・住民協働市会議員団
大西 一三 議員

園部本町商店街に 再び人のにぎわいを

現計画の早期実現に努力 **市長**

問 宮町交差点の改善が遅々として進んでいないが、交差点から京都銀行への道路を一方通行にしても、改良を急ぐべきと考えるが。
市長 私も遺憾に思っている。「一方通行」は、公安委員会などと協議が必要となる。現計画の中でこういった形で早期に開通できるか協議を進めていきたい。

問 宮町シンボルロード建設による従前の自
市長 8軒中6軒が同一地域で従前と類似した営業をされている。本町区画整理事業地内の移転については、ほとんどの方が換地先でも継続して営業されると聞いている。

問 本町市街地再開発による町並み形成の見
市長 安易な変更は混乱を増すことになる。立案された都市計画事業を着実に推進していくことが大切である。現計画のなかで、早期に実現できるように努力していく。

問 戦争の恐ろしさ、平和の尊さ等、平和の大切さを呼びかける平
市長 恒久平和の実現・達成に向け努力していくことは大切で今後、議論を深めていくことが必要であると考えている。

張りめぐらされる防除ネットと電柵



活線クラブ
藤井日出夫 議員

有害鳥獣の 捕獲対策は

国・府の対応を見て拡充をはかる **市長**

問 農業振興については、伝統野菜・生菜の価格の低迷で事態は深刻である。その支えである農産物価格安定制度の充実と強化を望むところである。
市長 有害鳥獣の被害は甚大であり、行政としての対応が求められる。特に野生鹿の捕獲後の処置について狩猟関係者の負担にならないよう市としての対応を伺う。

市長 有害鳥獣の被害は年々増加し深刻である。市としても、食肉の有効利用を図る観点から、昨年より府の補助事業で食肉処理施設を整備した。本年は流通・供給体制を整備し有効利用を促進していく。捕獲後の処理については廃棄物処理法の適切な方法で埋設することが必要である。処分費込みの報奨金制度となっているが、焼却施設については現在、

国・府において検討されている。様々な規制もあつたが関係機関においていろいろな観点

から研究をされている。南丹市においても今後、対策の拡充を図っていきたいと考える。



日吉支所



南風会
井尻 治 議員

機構再編 なぜ今必要か

将来に禍根を残さないため **市長**

問 合併までには、多くの課題や問題について合併協議会で時間をかけ協議してきたが、最大の懸案であった総合支所の設置を、おおむね10年とすることで住民合意が得られた大きな要因である。合併後1年半しか経過しない今、20年度予算編成に支障をきたさないための再編と聞くが、支所機能の縮減を含む機構再編をしなければならぬ財政的理由、緊急性を問う。また、新組織人

事で財政再建のための財政計画、投資的経費の各種事業精査など短期対応ができるか伺う。
市長 このままでは、平成22年には基金が枯渇する。将来にむけた人件費の削減、事業施策の精査など、今そのための体制づくりを実施し、20年度予算に取り組むことで将来に禍根を残さないと考えている。

問 園部・中心市街地活性化計画は、総事業費14億を超える多額の財源を投入し事業の推進を図っている。しかし商店の後継者問題や、周辺地域での大型店舗の進出など、事業の長期化による影響が懸念されるがどうか。
市長 全国的に中心地の空洞化が問題になっており大きな課題である。まちなか賑わいに、関係住民の方が十分協議をいただいております、内林・新

光悦村との連携により活性化が図れると考えている。

販売促進が期待される平成台分譲地



丹政クラブ
森 嘉三 議員

南丹・京丹波地区 土地開発公社所有地について

売却・有効利用を積極的に **市長**

問 南丹・京丹波地区土地開発公社が旧町の継承として先行取得している土地の保有面積と、資金の借入金額、販売の状況は。また、市の負担となっていないのか、今後の対策について伺う。
市長 企業誘致、都市計画事業など、計画に基づいているのか伺う。

づき土地取得を行ってきたが、現在、公社主義の保有地は20万9千㎡、借入金額は37億円となっており、利息分が8億1000万円という状態である。市保有地も含めて早急に再点検し、財政面も勘案した上で、市への大きな負担にならないように、売却また有効利用を積極的に進めていく考えである。

また、平成台については、69区画のうち、19区画が残っており、販売体制も含めて検討し、販売促進に努めていく必要がある。
国の出先機関等については、移転の意向について折衝中である。

市長 国道9号の拡幅、宮町交差点の改良については、全体事業と合わせて、国・府とも連携し、引き続き、早急な事業推進に努力していく。
拠点施設については、市街地活性化のため、集客力のある施設として、まちづくり協議会や商工会の皆さんとも連携し、今後の管理運営も含めて充分検討し、進めていきたい。



丹政クラブ
村田 正夫 議員

西の鯖街道で 観光振興を

大きな可能性をもった事業 **市長**

問 福井県高浜町を起点とし、京都市に至る「西の鯖街道」を戦略的に掘り起こし、観光振興を図り、交流人口250万人につなげてはどうか。

市長 協定を結んでいる佛教大学との連携、北野商店街・四条大宮商店街との協力で、「地域再生計画」を樹立する。その広域ネットワークを生かして、鯖寿司などの特産振興、峠道を「古道」として生かすなどの施策が必要ではないか。

市長 市の将来にとって大変重要な課題であると考えている。文化や歴史を再認識し、観光や都市交流につなげ、それによって地域振興が図られるという、大きな可能性を持った事業であると認識している。

問 関係者の協議と協力で事業をさらに進める中で、行政も積極的に協力していきたい。

問 昨年、公募をせずに指定管理者の指定をした51施設について、元々の成り立ち、公募の是非、その条件のつけ方の検討を、契約更改を待たずに始めるべきではないか。

市長 地域おこしと深くかかわっている点、合理性や効率性はかりを優先できない点の再認識が必要である。地域を守り、住民自治を守り、地域経済を守り、その雇用を守るため、この際、指定管理者制度の南丹市バージョンをまとめ上げてはどう

市長 公募になじまない施設がある点は承知しており、合理的、効率的な運営はめざさなくてはならないが、行政サービスの低下も避けなくてはならない。

毎年度末の事業報告書で実績を検討し、指定方法を考えていきたい。指摘の基準も必要であると思っている。



丹政クラブ
森 爲次 議員

特別支援教育の 充実を

専門的教育力を活用し推進 **教育長**

問 障がいのある子供達への教育は、障がいの種類や程度に応じて行われてきたが、本年4月、教育基本法の改正によって、障がいの種類に関係なく学べるようにと特別支援教育がスタートした。

教育長 個々の状況に応じた教育上の支援をきめ細かく行うため小・中学校に支援コーディネーターの育成、配置ができるよう早急に体制づくりが必要と考えるが、この支援体制

教育長 本市においては、特別支援教育コーディネーターを中心として、教育のあり方等を協議する校内委員会が組織され、支援内容について協議し、実践している。丹波養護学校の専門的な教育力を活用し、特別支援教育の推進に努めていく。

問 南丹市で公の施設は現在319施設ある。使用料を運営資金に充て

ているが、維持管理には相当な税金が使われている。施設の将来の管理運営という観点で、サービスマンの情報を総合的に把握した施設白書、総合的な計画が必要だと考えるが市長、教育長の見解は。

市長 各施設に対する情報を統一的に把握し、改築や修繕などを計画的に進めていくとともに、施設白書のようなものも考えていきたい。

教育長 総合的な情報を集約した施設白書的なものがあるが、維持管理には相当な税金が使われている。施設の将来の管理運営という観点で、サービスマンの情報を総合的に把握した施設白書、総合的な計画が必要だと考えるが市長、教育長の見解は。

市長 各施設に対する情報を統一的に把握し、改築や修繕などを計画的に進めていくとともに、施設白書のようなものも考えていきたい。



活緑クラブ
川勝 儀昭 議員

住民サービス 低下が懸念

市長 協定項目との整合性は遵守

問 行政組織の組織再編強化について、合併協議における決定事項との整合性について伺う。合併協議においては、ゆるやかな合併であり、おおむね10年間総合支所を配置し、職員配置割合は、本庁に3割、支所に7割である。今回、合併後1年数カ月で支所の職員が大幅に削減され、住民サービスの低下が懸念される。合併協議における総合支所と今後の総合支所との違いはないのか理事

市長 岩が黒いという指摘については、平成17年8月、府と園部町とで検査が行われた。結果は、石に付着した物質はマンガンであり、触媒作用により黒くなっている。マンガンは、自然界の中にあるもので水質検査も含め、問題なしとの見解であった。水質検査は、合併を機に毎年実施している。今後、検査結果の公表周知を図りたい。

問 国は自らの失敗による負債のしわ寄せを地方に押し付けてきてい

岸上副市長 合併協議において、ゆるやかな合併や職員配置の3割7割は、話には出ていたが合併協議にはない。数字としても残っていない。今者の所見を伺う。

市長 基本的に協定項目との整合性については遵守していると考えている。効率的な行政運営と市民の立場にたち、長期的な視点で見直し、改めていきたい。厳しい状況下での改革であるため、ご理解たまわりたい。

中島参与 行政の恩恵や行政の力を等しく住民が享受できるよう努めることが、支所に与えられた責務であると考えている。支所機能をしっかり持たせ、地域住民のため在職

問 食育や衛生面から美山中学校以外でも中学校給食が必要と考えるが、教育長の所見を伺う。

教育長 総合的な見地から、教育効果や給食の利点、食育の重要性を認識し、今後、学校や保護者、PTAとも連携し方向性を見出していき



丹政クラブ
中井 榮樹 議員

ふるさと納税を どう考えるのか

市長 慎重な議論が必要

問 るり渓流域は、下流にかけて多くの地域がかんがい用水として、稲作や野菜づくりに常用している。上流部の各企業等は、理解を示し、法定に基づく検査で許可を受けているが、川の岩は黒く、景観上のイメージも悪い。何かの要因で水質汚染がないか市としての責任で水質検査をし、安全宣言を出すべきと考えるが。

問 国は自らの失敗による負債のしわ寄せを地方に押し付けてきてい

市長 岩が黒いという指摘については、平成17年8月、府と園部町とで検査が行われた。結果は、石に付着した物質はマンガンであり、触媒作用により黒くなっている。マンガンは、自然界の中にあるもので水質検査も含め、問題なしとの見解であった。水質検査は、合併を機に毎年実施している。今後、検査結果の公表周知を図りたい。

る。三位一体改革や骨太の改革など聞こえのいい言葉ばかりが聞こえてくるが、現実には各補助金は削減、その上、税源移譲もあてにならない。これでは、地方は成り立つはずがない。そこで、浮上してきた「ふるさと納税」論であり、この発想は、理にかなったものと考えている。しかし、税制の整合性もあるので住民税だけでなく、税制改革を行い、税全体の中で検討し、地方の格差是正と財

源確保のためにも南丹市から発信していく必要があると考えるが。

市長 「ふるさと納税」については、賛否両論がある。また、交付税は、地方の財源格差を埋める我々の税源という意識の中で、この論議も踏まえたいと後で代替措置ということになって交付税を減らされては困る。ふるさと納税は、新税として今後考えていかなければならない。

陳情書の受理

○国に対し、療養病床削減・廃止方針再検討の意見書提出を求める陳情書

○国に対し、06年4月診療報酬改定による「リハビリテーションの算定日数制限」撤廃を求める陳情書

○「特定健康診査・特定保健指導」を国の責任において実施するよう求める陳情書

○後期高齢者医療制度創設にあたり患者本位の医療実施を求める陳情書

(陳情者)
京都府保険医協会
理事長 木村敏之

要望書の受理

○森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書(案)採択の要請

(要望者)
森林労連 全国林野
関連労働組合 京都

森林管理事務所分會
執行委員長 今井道宏

請願の取り扱い

『南丹市八木町域内に市営バス運行を求める請願書』が提出され、総務常任委員会において継続審査となっていました。が、「公共交通機関としての市営バスの必要性は認識するが、南丹市バス交通整備計画検討委員会の報告書を尊重し、現行の市営バス運行形態の中で可能な方策を検討すべきである。なお、今後の課題として、南丹市営バスの全市における交通体系整備計画を作成すべきである。」との意見により趣旨採択としました。

『南丹市民の住宅改修に際し助成制度の創設を求める請願書』が提出され、産業建設常任委員会において継続審査となっていました。が、「不特定多数の市民を対象とする助成制度は、財源的な問題もあり対応は困難である。しかし、今後において、弱者救済等の住宅改修については国、府等の動きも十分鑑み、他の住宅改修制度の活用により、普及拡大、制度の充実を図っていくことも必要であると考え。」との意見により不採択としました

人事案件

次の各財産区管理会委員の選任について原案通り同意しました。

- ・字南・字北・字中・字河内谷・字江和・字田歌・字芦生・字白石・字佐々里財産区管理会委員
- ・知井財産区管理会委員
- ・平屋財産区管理会委員
- ・宮島財産区管理会委員
- ・鶴ヶ岡財産区管理会委員
- ・大野財産区管理会委員
- ・胡麻郷財産区管理会委員
- ・五ヶ荘財産区管理会委員
- ・世木財産区管理会委員

常任委員会

活動報告

総務常任委員会

4月27日

「南丹市八木町域内に市営バス運行を求める請願書」について、趣旨採択すべきものと決定しました。

5月22日

日吉町地内における情報基盤整備事業と防災行政無線の活用状況、殿田小学校校舎改築現場の現地調査を実施しました。その後、美山町地内の

移动通信鉄塔整備事業について完了施設と今後の整備地域を現地調査しました。

6月18日・21日

付託議案11件について内容を審査しました。特に南丹市組織条例の全部改正については、改正することの必要性和、支所における住民サービス機能の低下について、問題点を提起するなかで、「サービス低下を招かないようにしていく」という理事者答弁を信用し、可決しました。

産業建設常任委員会

5月15日

平成18年度完了事業現地調査を実施しました。園部は市道城南小山線、下水道雨水管渠布設工事、八木は市道

八木馬路線、日吉は市道海老谷線、林道開設奥山向山線、生畑・木住簡易水道改良工事、美山は静原水路改良工事、市道小淵向山線道

路改良工事です。

地域でのさまざまな課題を解決する各事業であります。南丹市の総事業の一部分であり、今年度で完了した

厚生常任委員会

5月21日

「廃棄物焼却施設に係る第3回専門家会議」の報告をもとめました。が、試験運転は、自主目標値をオーバーする結果でした。今後は1日も早く、企業の責任において市民の安全性を担保できる努力をもとめるとともに、市民の立場にたった監視体制を強固なものとする必要があります。

6月7日・16日

管内の保育所を回り、園児数に対する保

もの、継続して事業を実施するもの等があります。本市は広域であり、できる限り現地現場主義での委員会活動を進め、事業効果・効

率の面でも審査を深めたいと考えます。

育士の適正配置、園の運営・施設の課題などを調査しました。

幼稚園が未設置の日吉・美山では年齢別保育が難しく就学前教育に課題がありました。八木では、先進的な幼保一元化が行われていますが、市の対応の遅れが目につきました。

訂正

前号15ページ1～3行目の中川幸朗議員の一般質問の「問」の記事について、左記のとおり訂正します。

「今後、本庁と支所の機能をどう考え、権限を区分し」とあるのを、「今後、本庁と支所の機能をどのように考え、権限を区分していくのか。」に訂正します。



林道奥山向山線現地調査（日吉町内）



管内保育所現地調査（八木町内）



2時間耐久 三輪車レース



ばんたんの競技



日吉町四ッ谷

近藤 直樹

秋の日吉の風物詩「2時間耐久三輪車レース」が今年も10月7日(日)府民の森ひよして予定されています。

今年で17回目を迎えるこのレースは、地元はもちろん他府県からの参加も年々増えており愛好家の間でも好評を得ています。なかでも三輪車でテクニカルなコースを走行し、タイムを競う「サスケ」は大人気です。

現在、三輪車レースは「こいこい祭り」の一環として行われており、メインのレース以外に、フリーマーケットや模擬店、愉快なDJショーなど家族連れでも一日ゆっくり楽しめます。

三輪車レースに興味のある方はもちろん、秋の行楽をどこに行こうか考えておられる方、いちど府民の森ひよしまで足を運ばれてはいかがでしょうか。

KYOTO南丹ラリー



園部町宮町

船越 潤

一昨年より全日本ラリーを開催し、本年は大会名を「KYOTO南丹ラリー2007 in ひよし」と改めラリー競技の普及、南丹市の発展につなげたいと思ひ開催いたしました。

ラリーは他のモータースポーツと違い陸運局の検査を通ったナンバー付き車輦で一般道をコースとし競技をいたしますので、地元の皆様のご理解、ご協力をお願いし参加する選手、観戦に来られる方々、主催運営する者の四者が気持ちを一にして作り上げていくお祭りのようなイベント(モータースポーツ)だと思っています。

南丹ラリーの益々の発展のためにご支援、ご協力、よろしくお願い申し上げます。

美山サイクルロードレース



美山サイクルロード実行委員会

新緑の美山を自転車で駆け抜ける「美山サイクルロード」レースが5月27日美山文化ホール前をスタート・ゴールする九鬼ヶ坂周回コースで行われ、小学生の部から40歳以上の部まで男女あわせて、過去最高の931人の選手がエントリーしてスピードを競いました。

レースは1周(小学生は半周)、2、3、7周の各部に分けて選手が出場し、部門で熱戦が展開されました。

各部門での入賞者には、南丹市より山の特産品がプレゼントされました。

特に、昨年より設けられた小学生の部には地元南丹市の宮島・園部各小学校の児童も多数出場し、沿道の声援を受けながらゴールしました。

編集後記

せみの声にも暑さを感じる日を迎えております。

さて、本年4月から日吉町地域において、南丹市ケーブルテレビのサービスが開始されました。「合併を実感した」地域の情報がよく分かる等、住民の皆様から好評の声をお聞きします。また、八木町・美山町地域では来年4月から、サービス開始予定であります。南丹市全域で視聴が可能となることで、まちや人の一体感の醸成につながることを期待します。

9月定例会の予定

- 6日(木) 本会議(開会、議案提案説明)
- 12日(水) 本会議(一般質問)
- 13日(木) 本会議(一般質問)
- 14日(金) 本会議(一般質問)
- 28日(金) 本会議(採決、閉会)

*8月29日(水)午後5時までに提出された請願・陳情等は9月定例会で取り扱われます。

*会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。